



里海

人が海からの豊かな恵みを楽しむだけでなく、人も海を耕し育み守る

活動

島全体を丸ごと博物館に（自然環境+人々の暮らし）

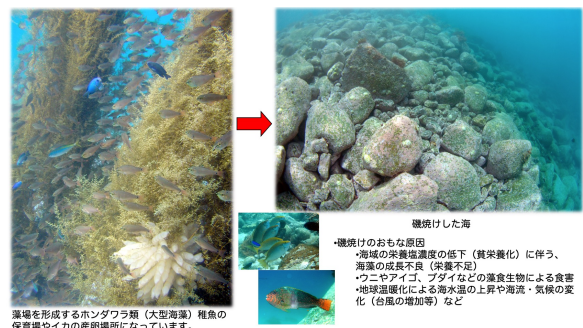
- 海洋生物の調査研究（大学等との共同研究）
- 里海セミナーの実施
- 高知大学にて土佐の海の環境学（通称：柏島学）開講2001年～
- 海の環境学習や体験実感学習、エコツーの開催
- 島内外への情報発信（各種講演や出張出張授業を含む）

1 自然を実感する → **2 自然を活かす** → **3 自然と暮らしを取り組む**

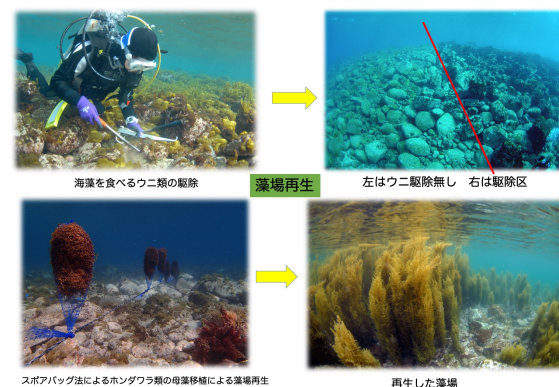
持続可能な里海

- 住民の物産販売「里海市」への参加
- 豊かな漁場づくりのお手伝い
- アオリイカの人工産卵床設置
- 藻場再生（海の中の森づくり）
- サンゴや藻場のモニタリングや保全活動
- ダイビングと漁業が共存するための調整
- 自然と暮らしを守るルール作り（柏島里海憲章）
- 災害リスクマネジメント（南海トラフ巨大地震への備え）

里海づくりに関する新しい視座
※日本大震災からの気づき



森川里海と様々な主体をつなぐ海の中の森づくり
間伐材を使ったアオリイカの人工産卵床設置事業



海の中の森づくり

西洋医学的処方箋

アオリイカの人工産卵床を設置し、直接的にアオリイカ資源を増やす

イカが増えないという漁師の痛みをブロック対処療法

東洋医学的処方箋

自然の産卵床としての藻場を再生する

効果は遅いが本来の自然環境を取り戻すことで、自然治癒力を高める根本的解決法

ダイバーと漁業者他多数の関係者らが協働することで
生物多様性の維持と水産資源の増殖を目指す
持続可能な里海づくり



里海とは…

人が海を耕し、育み、守っていく
人の暮らしと海との関係性によって成り立つ「場」

その海と共存していくためには、海という自然との関係性だけではなく
そこで生活している「人」と「人」との関係性も考えなければいけない。

自然環境の保全 ← **里海** → 利便性の高い暮らし